

各 位

会社名 岩崎通信機株式会社
代表者名 代表取締役社長 木村 彰吾
(コード：6704、東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 時田 英典
(TEL. 03-5370-5111)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月23日に公表した2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の業績予想を以下のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	22,100百万円	500百万円	600百万円	1,300百万円	130.54円
今回発表修正（B）	21,000百万円	0百万円	0百万円	800百万円	80.16円
増減額（B－A）	△1,100百万円	△500百万円	△600百万円	△500百万円	△50.38円
増減率（％）	△5.0％	－	－	△38.5％	－
（参考）前期連結実績（2023年3月期）	22,903百万円	△983百万円	△905百万円	△1,181百万円	△118.64円

2. 修正の理由

2024年3月期通期の業績予想につきまして、第2四半期の実績や今後の需要予測等を踏まえ下方修正いたします。

当社を取り巻く事業環境は、サプライチェーンの正常化に伴い昨年度まで継続していた部材調達難による販売機会の延伸・剥落による影響は減少傾向にありますが、主力とするビジネスホンにおいては、国内通信機器市場が軟調に推移している中、クラウドPBX等の進展やネットワーク関連機器の多様化により、受注獲得期間の長期化や見込案件の不足・延伸等が生じています。また、原燃料価格の高止まりにより各種コストが上昇する中、外部委託工事の増加に伴う利益率悪化や販売店における在庫調整の影響も生じています。当社グループでは中期経営計画で掲げる「徹底した固定費削減」や「成長戦略推進」の実現に向けた取組を鋭意推進しておりますが、売上収益及び利益の減少をカバーするまでには至らず、前回発表予想を下回る見込みであることから、上記のとおり通期連結業績予想を修正いたします。

なお、現在推進中の固定費削減に向けては、短期的な取組に留まらず、抜本的な構造改革及びオペレーション改革による効率化に取り組んでまいります。期末配当見込みについては1株当たり25円で前回発表予想から変更はありません。

※上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上